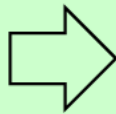


# 畑地かんがい用水の活用で、冬キャベツの指定野菜産地が安定的な産地として成長～大崎町キャベツ出荷組合～

## 経営体の概要

設立年度：平成20年  
 基幹作物：キャベツ  
 作付面積：約50ha  
 生産者：法人4戸、個人1戸



現在：平成27年  
 基幹作物：キャベツ  
 作付面積：約66ha  
 生産者：法人3戸、個人2戸

## 取組の経緯と経営転換のポイント等

平成15年度に大崎町が冬キャベツの野菜指定産地に指定。平成20年に町内を中心に5名（4法人、1個人）の参加で出荷組合を設立。（現3法人、2個人）

畑地かんがい用水の活用により生産規模の拡大と、出荷量の安定確保に努め、面積約66ha、出荷量約3,600トン（11～6月）で販売額約1億円の出荷組合に成長。

## 営農改善のポイント

### ①栽培技術の確立・向上

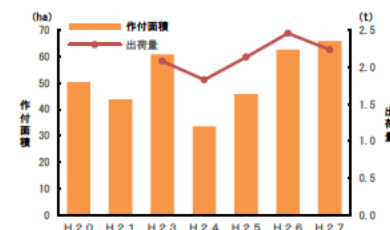
週1回定例会で生育状況を共有し、必要に応じた現地検討で栽培上の課題等を克服。曾於畑地かんがい農業推進センターの指導を受け、寒玉系品種を選定。平成20年より自走式かん水器具を先行的に導入するとともに、リールマシン研究会にも参加し、水利用技術を向上。



キャベツ栽培の様子

### ②単収・品質の向上

活着期を中心とする畑地かんがい用水の積極的な活用で、計画的な作付けと安定的な出荷が可能。



キャベツの作付面積及び出荷量の推移

### ③流通・販売の工夫

種苗メーカーを交えた毎年7月の検討会での品種決定や、株間短縮により2～2.5kg/玉を生産するなど、実需者のニーズ等に対応しつつ、出荷先を設立当初の14社から現在6社に絞り込み、安定供給も実現。

出荷組合設立当初からかごしまの農林水産物認証(K-GAP)を取得し、安全・安心な商品をPR。

平成26年度より加工・業務用野菜生産基盤強化事業で作柄安定のための深耕・畑かん用水を活用した土壌消毒・緑肥・堆肥施肥に取り組み、単収の向上と定量・定質・定時、定価で出荷対応出来る実需者から信頼される産地づくりを実践。



スマートレインによるかん水の様子

## 事業概要

事業種：かんがい排水事業  
 関係市町：鹿児島県鹿屋市、志布志市、大崎町  
 受益面積：4,000ha  
 事業期間：平成元～20年度（機能監視：23年度）  
 事業目的：畑地かんがい  
 主要工事：ダム1箇所、揚水機場8箇所、用水路95.1km

## 位置図（鹿児島県）



## <問い合わせ先>

九州農政局  
 農村振興部農村環境課  
 電話：096-211-9681  
 （内線：4666）

（平成28年度調査時点）